

要 約

試験委託者

環境省

表題

フタル酸ジ-*n*-オクチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

A 0 5 0 3 8 2

試験方法

本試験は、「新規化学物質等に係る試験の方法について＜藻類生長阻害試験，ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験＞」（平成 15 年 11 月 21 日 薬食発第 1121002 号，平成 15・11・13 製局第 2 号，環保企発第 031121002 号，最終改正：平成 17 年 4 月 1 日）に準拠して実施した。

- 1) 暴露方式： 半止水式（24 時間後に試験液の全量を交換）
- 2) 暴露期間： 48 時間
- 3) 試験濃度（設定値）： 対照区，助剤対照区，0.000990* mg/L
*：試験液調製可能最高濃度での限度試験
助剤濃度一定：N,N-ジメチルホルムアミド 100 μ L/L
- 4) 試験液量： 200 mL／容器
- 5) 連数： 4 容器／試験区
- 6) 供試生物数： 20 頭／試験区（5 頭／容器）
- 7) 試験温度： 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 8) 照明： 室内光，16 時間明（800 lux 以下）／8 時間暗
- 9) 分析方法： 高速液体クロマトグラフィー（HPLC）

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

分析の結果，測定値の設定値に対する割合は，試験液調製時において 75～97%，その24 時間後において 44～62%であった。

濃度減少の主な原因は，生物への移行が考えられる。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EC50) : >0.000669 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

0%阻害最高濃度 : >0.000669 mg/L

100%阻害最低濃度 : >0.000669 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EC50) : >0.000669 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)

0%阻害最高濃度 : >0.000669 mg/L

100%阻害最低濃度 : >0.000669 mg/L